

2. 仕 様

KS-1 マニユアル
(旧タイプ)

①RS-232Cインターフェイス

- 最大伝送速度..... 20Kbit/s
- 最大伝送距離..... 10m
- 出 力..... 3K Ω 負荷にて $\pm 9V$ 以上
- 入 力..... 入力抵抗3K Ω 以上、レシーバ感度 $\pm 3V$ 以上

②RS-422インターフェイス

- 最大伝送速度..... 20Kbit/s
- 最大伝送距離..... 1.2K.m
- 出 力..... 平衡型、100 Ω 負荷にて、 $\pm 2V$ 以上
- 入 力..... 平衡型、入力抵抗4K Ω 以上、

レシーバ感度 $\pm 200mV$ 以上

- ③動作温度・湿度..... 5 $^{\circ}C$ ~45 $^{\circ}C$ 、30%~80% (但し結露しないこと)
- ④保存温度・湿度..... -20 $^{\circ}C$ ~75 $^{\circ}C$ 、5%~85% (但し結露しないこと)
- ⑤電源電圧..... DC 8V~9V
- ⑥消費電流..... 300mA (MAX)
- ⑦外形寸法..... 83W*58D*20H (突起部含まず)
- ⑧重 量..... 約 160g (本体)

COPYRIGHT(C) 1987 BY SYSTEM SACOM CORPORATION

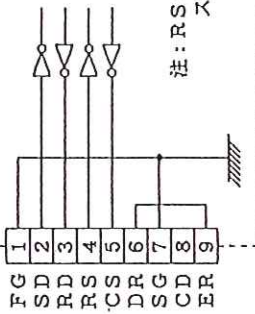
3. コネクタピン配置及び接続例（制御線を使用の場合）

3-③ RS-422側（コネクタ DB-25Sタイプ）

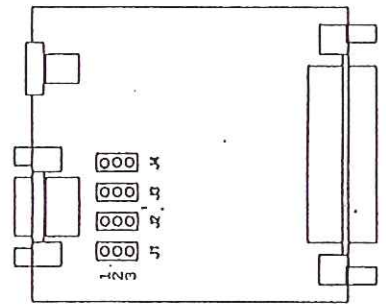
① RS-232C側（コネクタ DE-9タイプ）

ピンNO	信号名	略称	入出力	機能
1	フレームガード	FG		フレームグラウンド
2	受信データ	RD	入力	ホストCPUよりデータを受信する伝送線です。
3	送信データ	SD	出力	ホストCPUにデータを送信する伝送線です。
4	送信可	CS	入力	ホストCPUよりRSを受信する伝送線です。
5	送信要求	RS	出力	ホストCPUよりCS送信する伝送線です。
7	シグナルガード	SG		信号線用グラウンド

RS-1 内部接続（制御線を使用の場合）



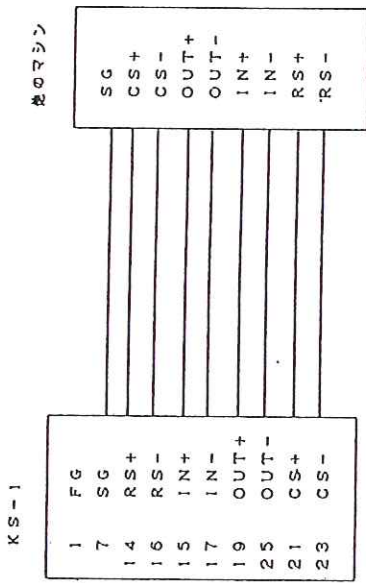
注：RS232ケーブルは、ストレートタイプを使用して下さい。



注：出荷時のジャンパーピン（位置 J1-J4 ①-②側（SD・RD制御線使用位置））

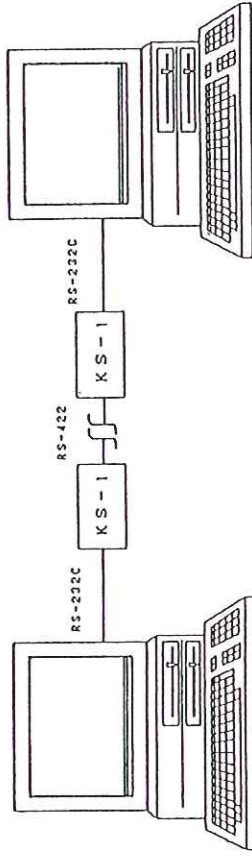
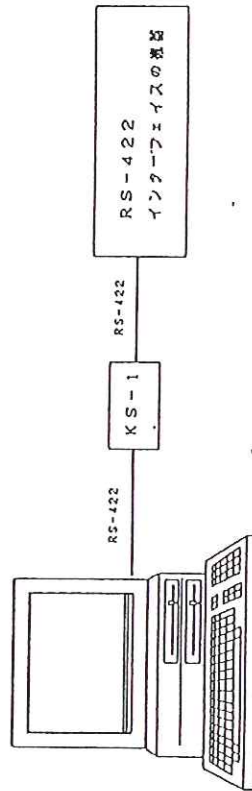
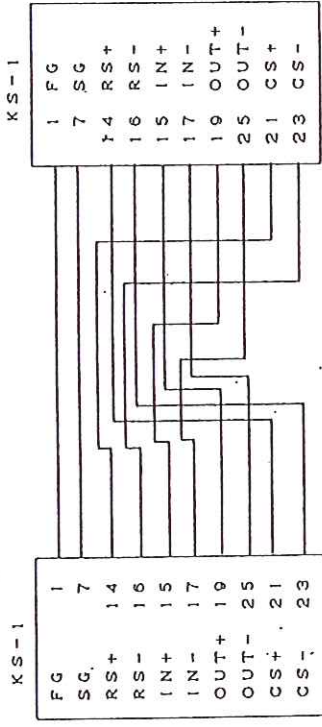
ピンNO	信号名	略称	入出力	機能
1	フレームグラウンド	FG		フレームグラウンド
7	シグナルグラウンド	SG		信号線用グラウンド
15	受信データホット	IN+	入力	ホストCPUよりデータを受信する伝送線である 差動入力ホット側
17	受信データコールド	IN-	入力	ホストCPUよりデータを受信する伝送線である 差動入力のコールド側
19	送信データホット	OUT+	出力	ホストCPUにデータを送信する伝送線である 平衡出力ホット側
25	送信データコールド	OUT-	出力	ホストCPUにデータを送信する伝送線である 平衡出力のコールド側
14	送信要求ホット	RS+	出力	ホストCPUよりCSを送信する伝送線である 平衡出力ホット側
16	送信要求コールド	RS-	出力	ホストCPUよりCSを送信する伝送線である 平衡出力のコールド側
21	送信可ホット	CS+	入力	ホストCPUよりRSを受信する伝送線である 差動入力ホット側
23	送信可コールド	CS-	入力	ホストCPUよりRSを受信する伝送線である 差動入力のコールド側

RS-422 接続



3-③ KS-1とKS-1の接続

RS-422 接続



4. ターミナルについて

KS-1の入力側(IN+, IN-間)、100Ωでターミナルされています。出力側は、ターミナルされていません。RS-422ケーブルを既入する場合には、ターミナルの必要の有無を御指定下さい。

出力側でターミナル抵抗をいれる場合は、接続されるコネクタ内、またはコネクタ付近でOUT+, OUT-間を100Ω(1/2W以上)で接続して下さい。